

## 1980年代後半におけるマルク建て国際金融取引の進展

大阪市立大学大学院 野村幸宏

今回の発表では、1980年代後半におけるマルク建て国際金融取引の発展を、ドイツ国内経済および金融・資本市場政策の視点から分析することを目的とする。具体的には、この時期におけるドイツ国内の市場規制緩和および実体経済の変化が、従来ユーロマルク市場にその中心を置かざるをえなかったマルク建て国際金融取引と、ドイツの「金融中心国」としての姿にいかなる影響を与えたのかということに重点を置きたい。

研究（関連）分野：国際金融、国際通貨、欧州通貨統合